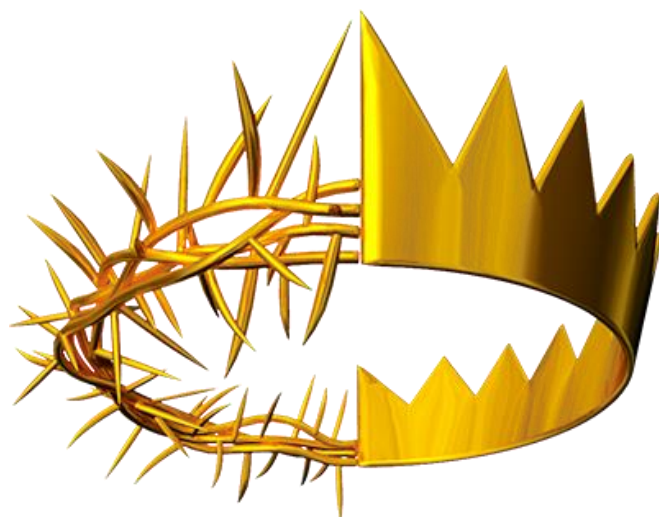


2022年 第2期 献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団
スチュワードシップ部

4 月 2 日 なぜ献金をするのか？

友人が電話で話し出しました。「教区のやろうとしていることに賛成できない。だから、什一を送る場所が他にあるか知りたいのだけれど。」私たちが什一をお返しするのは、牧師や教会の指導者なののでしょうか。私たちはだれに什一を献げるのでしょうか。

詩編には「感謝のいけにえを神にささげよ。あなたの誓いをいと高き者に果せ。」(詩編 50:14-口語訳)と書かれています。什一は真の受取人である神への礼拝の行為として献げられ、教会を通して現代の神の倉である教団・教区に納められるべきものです。また、什一がどのように使われるかは神が定めています。それは、御言葉によってその権限を与えられた福音の世界宣教の働きを支えるために用いられます。

什一は、指導者の行いに対する報酬でも、罰するための道具でもなく、主がくださった多くの祝福に感謝する礼拝のかたちです。私たちの献げる動機を指導者たちの言動に置くな、什一と諸献金を神の倉に携えてきて主を試みなさい、という神の確かな御命令を軽視する結果になるかもしれません。

へりくだって神に栄光を帰し、礼拝するために、神が定められた場所に什一を携えましょう。主が私たちに正しい動機を与えてくださるよう求めましょう。

4 月 9 日 それって教会の発明なの？

誰が什一の制度を発明したのだろうか、なぜ教会に什一をささげるのだろうか、なぜ什一は正確に 10% でないといけないのだろうか、と考える人がいるかもしれません。

什一制度は教会の発明ではありません。安息日や結婚と同じように、ユダヤ人にだけでなく全人類のために、神ご自身が制定された制度です。ですから今もなお、神を創造者、また与え主として認め、聖書全体を神の御言葉として受け入れるすべての人々によって実行されているのです。

アブラハムやヤコブも什一を献げました。その後、什一の律法は、イスラエル人が国家となる際に、再び与えられました。什一は私たちの給与からのみお返しすれば良いのでしょうか。その他の収入についてはどうなのでしょう。

「什一」という言葉は、ヘブル語の「マアサー」から来ており、「十分の一」または 10% を意味します。ですから、他の割合も什一と呼ばれることはありません。いかなる形の収入であれ、それを神からの祝福として認め、定期的にその十分の一を正確に神にお返しことは、神を信じる者にとって非常に大切なことなのです。

4月16日 献金を献げるべきとき

私たちが神様に献金を献げるべき時はいつなのでしょう。毎月、毎安息日、心から感謝した時、説教壇からの呼びかけがあった時、良いプロジェクトがあるのを知った時、それとも、心の中で今が献げるべき時だと感じた時に献げるのが正しい時なのでしょう。

パウロは、「持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられる」と述べています。神がお与えになることは、人が献げることに先行するのです。

ソロモンは献げ物の規則性についての一般的原則について「それぞれの収穫物の初物をささげ、豊かに持っている中からささげて主を敬え」と述べています。私たちが神に栄光を帰すべき時は、収入があったときだということです。そうすることによって私たちは、神が祝福の与え主であることを覚えることができます。

エレン・ホワイトは、「このささげるという問題は、衝動にまかされていない。…神は、われわれが、規則正しく、組織的にささげるように望まれる…」『祝福に満ちた生活』p.95)と書いています。

主が私たちを祝福してくださるのと同じように、規則的に献金を献げることを誓うことによって、「約束する者」になりたいとは思いませんか。

4月23日 借金からの解放

ある人の経験です。

借金で給与が全てなくなっていました。それは完全に自分のせいだったのです。仕事が変わって給与が大きく減ったにも関わらず、以前と変わらない支出を続けた結果、借金が膨れ上がりました。

職を変えるまでは什一だけでなく、別の10%を諸献金に、さらに慈善事業のためにも献げていました。今は、什一しか献げていませんが、それでも借金から解放されるには、少なくとも4年はかかるでしょう。

彼は聖書の約束を信じ、什一に加えて、収入の10%を伝道献金のために献げる決心をしました。何か副業が見つかることを望んで決心したのです。しかし、別の仕事が見つからなかったにもかかわらず、伝道献金を献げ始めてから10か月後には、借金から解放されていました。

献金を始めたのち、病気の父親を見舞うために航空券を買わなければならなくなりました。出かける直前に買った往復切符は、通常の半額以下で購入することができました。空港までは友人が車で送ってくれたため、タクシーの費用も節約できました。また、別の友人が自宅の使っていない寝室に無償で泊まらせてくれました。このようなことが次から次へと続いたのです。

神は私に余分なお金は下さいませんでしたが、その代わりに、私の生活費を大きく減らしてくださったのです。

4月30日 強い絆

「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛」しなさい、とキリストは言われました。夫婦の心の絆が、二人が信頼関係のうちにともに過ごした時間によって育まれるように、神との心の絆も、祈り、聖書を読んで瞑想すること、そして、礼拝をもって安息日を過ごすために費やした時間の結果として培われるのです。

キリストはまた「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」と言われました。もし私たちの愛情が、盗人がいてさびも付くこの世の富に置かれるなら、私たちの愛は朽ち果ててしまうでしょう。しかし、貧しい人々を助け、神の目的を支援するなら、また什一と諸献金を献げることによって天に宝を蓄えるなら、私たちの愛も天にあり、それは安全に守られるでしょう。

ある支部で、2015年から2017年の間に教会から離れた1,054,367人を対象に行われた調査は、献げることと、神への愛との相関関係を示しています。教会を離れた人たちの90%には、教会を離れる前の3年間、什一と諸献金を献げた記録がありませんでした。エレン・ホワイトもこのことについて述べています。「[神の倉に]投資するたびに、彼ら[献げた者たち]は、現代の真理のみ業にもっと固く結ばれるようになる」(『祝福に満ちた生活』p.86)。

5 月 7 日 経験を通して学ぶ

エレン・ホワイトは、①両親たち、教師たちは、子どもたちに、具体的に金銭の管理について教えること、②子どもたちは正しく金銭を用いる方法について、実際の経験を通して学ぶべきこと、そして③金銭の出納を記録することによって、その価値と使い道を学ぶべきことを勧めています。

このような訓練によって神がお与えになるものを定期的に計画的にささげることが学ばれます。什一と約束献金を献げることによって、子どもたちを神に結びつけることができます。子どもたちの心に、神があらゆる祝福の源であることが刻まれるのです。

あなたの教会の子どもたちは、金銭の出納を記録することを学んでいるでしょうか。シンプルな生活によって節約し、困っている人々に分け与えることを学んでいるでしょうか。自分のために出費する前に、什一と約束献金をお返しすることによって、神を第一にすることを教えられているでしょうか。什一や献金のために自分の封筒を持ち、収入があるごとにそれを用いて献げるよう訓練されているでしょうか。

子どもたちは、神に信頼されて親と教会に託された宝です。どのように神を信頼し、金銭を用いることにおいて、どのように神とつながるかを子どもたちに教えるよう、私たちは求められています。

5 月14 日 人生を変える選択

クリスチャンになるとは、①私が罪人であることを受け入れ、②私の罪の赦しのために、身代わりとなられたキリストの死を受け入れ、③新しい心をいただきたいと望み、④私の人生においてキリストを主として受け入れることを意味します。これは、私たちの人生すべての領域に影響を与える根本的な選びです。

私自身の中にある基準や考え方は、もはや意思決定のための要素にはなりません。今やイエスを主として受け入れ、人生を御言葉に服従させます。

ソロモンは、「それぞれの収穫物の初穂をささげ、豊かに持っている中からささげて主を敬え。そうすれば、主はあなたの倉に穀物を満たし 搾り場に新しい酒を溢れさせてくださる」(箴言3:9,10)と述べ、私たちの人生の経済面において、イエスとその御言葉に対する服従を実践する方法を示しています。初穂をもって主を敬うとは、私たちのために用いる前に、まず最良のものを神に献げることの意味します。

一方、私たちがイエスとその御言葉に喜んで服従しなくなる最初のしるしは、自分のための出費の前に什一をお返しすることに躊躇ことなのです。限られた服従は限られた祝福を生み出し、無制限の服従は溢れる祝福をもたらします。

5月21日 千載一隅のチャンス

もしあなたが、誰かの人生を大きく変えることができる瞬間に立ち会うことができるとしたら、どうしますか。そのようなチャンスが起きたときに、教会は素早く反応する必要が生じます。世界総会に送られる献金の一部は、そのような時に迅速に対応し、緊急プロジェクトを可能にする基金となります。

例えばアドベンチストの使命に対して、完全に閉ざされていた国で、予期せず扉が開かれたとします。この基金は、そのような時に教会の速やかな行動を可能にし、扉が開かれている間に、教会の働きの基礎をつくることに用いられます。

そのようなチャンスは、1991年に鉄のカーテンが破られた時に起こりました。突然、旧ソ連と東ヨーロッパの国々で福音に対する扉が開かれたのです。幸いにも、アドベンチスト教会はこの機会を捉えて、250回以上の伝道講演会をロシアで開くことができました。そのうちの一回は、宗教の死を宣言し、無神論をこの国の宗教であると宣言したクレムリン宮殿内で1992年にマーク・フィンレー牧師によって行われました。その翌年には、オリンピック競技場を5週間にわたって貸し切り、フィンレー牧師による講演会が行われました。これらの働きの結果、「ベルリンの壁」崩壊からわずか3年で、旧ソ連のアドベンチスト信徒数は、35,000人から85,000人に急増したのです。

5月28日 特別なオレンジの木

アンジェロ・ドナルド牧師が什一のことを学んだのは、教会の聖書研究ではなく、家庭においてでした。1977年当時、アンジェロの父親はアンゴラの首都ルアンダから1,580キロ離れた、コンゴとの国境の町、ルアウでアドベンチストの牧師をしていました。当時、子どもだったアンジェロは、家の周りにあった10本のオレンジの木のことをよく覚えています。

アンジェロの7人の兄弟姉妹は、その10本のオレンジの木のうち、9本からは自由にオレンジを取って食べましたが、一番よく実をつける10番目の木には触れてはいけませんでした。父がその木から採れた実はすべて、什一として教会に持って行くことにしていたからです。

時々アンジェロの父は、オレンジ泥棒から実を守るために木の近くに身を隠して、夜中寝ずに番をすることさえありました。忠実に什一を献げる父親の模範は、アンジェロと兄弟姉妹たちの霊的な選択に大きな影響を及ぼしたのです。

聖書は「われわれのすべての恩恵の与えぬしであられる神が、そのすべてについて、〔1〕請求権を持っておられるということ、〔2〕われわれはこの請求権を第一に考慮にいれねばならないということ、そしてまた、〔3〕この請求権を尊重する者には、特別な祝福が伴うことを教えています。『祝福に満ちた生活』pp. 75)

6 月 4 日 大切な関係

神は愛です。キリスト教は神との縦の関係と、互いの横の関係を前提としています。互いに愛し合うことは非常に重要なので、イエスは、それを弟子となる真の条件としてあげておられます。

神はまた、私たちのために、神と、そして兄弟姉妹と定期的に絆を深める日として安息日を特別にお定めになりました。アマゾンのような地域では、人々は教会に行くために長い距離を旅しなければなりません。金曜日の夕方に出発し、日曜日に家に帰る家族もいます。彼らは、他の教会員との交わりと、安息日に共に神を礼拝することが、霊的成長に欠かせないと考えているからそうするのです。

使徒の時代にすでに、仲間の信者たちと定期的に集まることに熱心ではなかった者がいたようです。しかし神は、信じる者たちが共に集まることは、再臨の日が近づくにつれてより重要になる、との警告を私たちにお与えになりました(ヘブル 10:25)。

アドベンチスト教会は、什一をお返しし、約束献金を現代の神の倉である教会に献げることにより、世界中の兄弟姉妹たちとのつながりを強めています。私たちが愛の絆で結ばれ、互いへの信頼を行動に表し、終わりの時代の福音宣教という共通の目標のために、ともに組織的に働く時、より多く、より遠くまで、より早く伝えることができるのです。

6 月 11 日 一人ぼっちの什一

アラビア人女性メロピ・グジカは、米国人ダニエル・ルイスによって、1940 年代にアドベンチストの真理に導かれました。しかし、第2次世界大戦後アラビアは共産主義体制となり、すべてのキリスト教会が閉鎖され、ルイスは逮捕されてしまったので、バプテスマを受けることができませんでした。その時からメロピは 50 年もの間、一人で信仰を守っていました。

1991 年、ついに政府による宗教の制限が撤廃され、世界総会からレイ・ダブロウスキーがアラビアを訪ねた折に、メロピと出会いました。彼女はダブロウスキーに、3つの願いを告げました。第1にバプテスマを受けたいということ、第2に、彼女がそのわずかな収入から、40 年間取り分けてきた什一と諸献金を教会に届けたいということ、そして3番目に彼女の国にアドベンチスト教会の建物が建つのを見たいというものでした。初めの二つの願いは、2001 年 2 月 17 日、彼女が 97 歳で亡くなる前に叶いました。

ルイスが教えた聖書の固い原則をメロピはしっかりと学び、それを実行しました。その原則とは、①什一は正しい割合(10 パーセント)で献げるべきこと、②それを神の倉に携えるべきこと、③それは公認された宣教の働きに用いなければならないこと、そして④その宣教の働き中で平等に配分されなければならないということでした。

6月18日 あなたの自転車は何ですか？

2018年11月、ブラジルの富裕な都市に住むマルチェロは、サイクリングの途中、街を覆う黒い雲を見ながら「雨が降り出す前に家に帰らないといけないな」と考えました。その日のテレビニュースで、豪雨による鉄砲水が市街地を襲う様子が映し出されましたが、そこには急速に水位の上がる水に逆らって、自転車のハンドルを握りしめるマルチェロの姿が映っていました。彼が激しい流れと格闘する姿が映ると、「自転車なんか離して逃げろ」と誰かが叫んだ声の直後、カメラは自転車にしがみついたまま彼が倒れる瞬間をとらえました。その日、夜遅くにマルチェロの遺体は消防隊によって発見されました。

今、私たちが手放すべき「自転車」は何か、と神は問いかけておられます。あなたを神から引き離そうとしている人間関係でしょうか。あなたに安息日を守らせないようにする仕事でしょうか。私たちの命をむしばむ不健康な習慣でしょうか。それとも、什一や諸献金を献げることが妨げる経済的な習慣でしょうか。

「イエスは、真の意味での犠牲をお求めにならない。なぜならわれわれが放棄するように求められるものは、われわれにとってないようほうがよいものだけである。」(『祝福に満ちた生活』p.345)。

6月25日 世界中に及ぶ宣教使命

ダニエルはバビロンでエレミヤ記を読んで、70年の捕囚の直後に、イスラエルが再建されることを知りました。しかし、神の民の受難の部分的な理解によって、ダニエルは打ちのめされ、病気になってしまいました。

何世紀も後に、使徒ヨハネが「開いた小さな巻き物」を強い御使いが持っているのを幻で見た時(黙示録 10:2)、彼はそれを食べるように命じられます。それは口には蜜のように甘く、しかし腹には苦いものでした。この幻は、ミラー運動、1844年の大失望、そしてセブンスデー・アドベンチスト運動に関するものでした。ヨハネに与えられた、その巻き物を食べなさいとの命令の後には、非常に明快な使命が続きます。「あなたは、多くの民族、国民、言葉の違う民、また、王たちについて〔に〕、再び預言しなければならない」(黙示録 10:11)。

この宣教使命は、私たちの住む地域の教会や近隣の範囲を遥かに越えて、より遠くへ届けられなければなりません。私たちの献げものを共に神の倉に集めることによって、私たちはより効果的に、はるかに多くのことを、より遠くまで、より早く届けることができます。聖書と預言の霊によれば、これが私たちの定期的で計画的な献金をささげることの目的です。